

豊橋市地球温暖化対策地域推進計画の関連施策について

豊橋市地球温暖化対策地域推進計画改訂版 19 ページ以降の緩和策の実施方針に記載している、各取組方針の取り組みの目標、具体的な状況について報告します。

▼取り組みの目標

取組方針		取り組みの目標	基準値 A (H26実績)	R2年度 目標値 B	H30年度 実績値 C	進捗率 (C-A) / (B-A) × 100	進捗状況 ※1
I	エネルギーを賢く使おう	①エコファミリーの登録件数（累計）[世帯]	9,836	15,000	15,382	>100.0%	◎
		②家庭用エネルギー設備補助件数（累計）[件]	7,238	15,000	11,035	48.9%	△
II	新しいエネルギーを生み出そう	①再生可能エネルギー施設の設置量（累計）[kW]	94,576	210,000	202,143	93.2%	○
III	地球にやさしい乗り物を使おう	①1日当たりの公共交通利用者数[千人/日]	79	79	83	>100.0%	◎
		②次世代自動車登録台数（累計）[件]	225	800	565	59.1%	△
IV	緑や資源を大切にしよう	①公共施設における緑のカーテン設置箇所数 [箇所/年]	132	140	134	25.0%	△
		②市民1人が1日に出す家庭系ごみの量（事業所から出るごみを含まない。）[g]	750	709	653	>100.0%	◎
V	地球環境への理解を進めよう	①環境イベントの参加者数[人/年]	7,402	8,510	9,100	>100.0%	◎

※1 計画改訂により取り組みの目標を見直したため、基準値をH26実績としている。また、進捗率についてもH26実績を基準に計算しており、改訂後の計画期間5年のうち3年が経過しているため、進捗状況の判断基準は以下の通りとする。

進捗状況：◎…進捗率100%以上 ○…進捗率60%以上100%未満 △…進捗率60%未満

▼計画の進捗状況

- ・エコファミリーの登録件数、1日当たりの公共交通利用者数、市民1人が1日に出す家庭系ごみの量、環境イベントの参加者数について、平成30年度末時点で目標を達成することができている。
- ・家庭用エネルギー設備補助件数や次世代自動車登録台数が伸び悩んでいることから、家庭への省エネ設備等のハード面への更なる普及啓発が必要と考えられる。
- ・公共施設における緑のカーテンの設置について、施設改修等が理由で実施できなくなる施設もあるため、未設置の施設へ、引き続き設置協力を求める。

取り組みの目標の達成状況から総合的に判断して評価

(A：順調に進捗している B：概ね順調に進捗している C：あまり進捗していない D：進捗していない)

B

■今後の取り組み

- ・市民及び事業者に対する省エネに関する情報発信及び普及啓発の継続
- ・太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入拡大と支援
- ・あらゆる世代に対応した環境学習の内容の検討とその展開

方針 I

エネルギーを賢く使おう

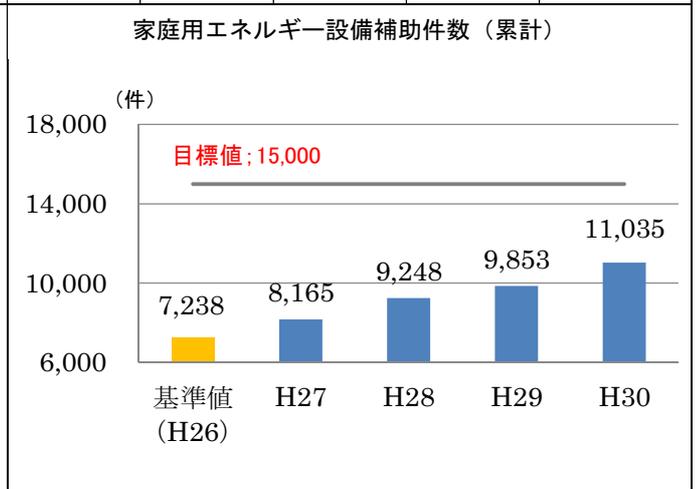
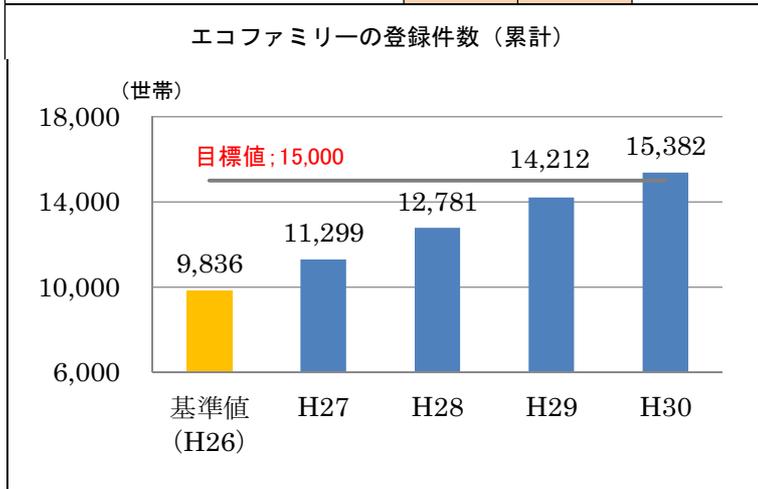
- 方針の推進に向けた施策
- I-1. 節電・省エネを実践する
 - I-2. 建物の省エネ化を進める

▼課題

□市民一人ひとりが高い問題意識を持って節電・省エネ等を実践するとともに、地球にやさしいライフスタイルへ転換していく必要がある。

□事業者が高い問題意識を持って節電・省エネ等を実践するとともに、低炭素型の事業活動へ転換していく必要がある。

取り組みの目標	基準値 (H26)	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
エコファミリーの登録件数 (累計) [世帯]	9,836	15,000	9,836	11,299	12,781	14,212	15,382	◎
家庭用エネルギー設備 補助件数 (累計) [件]	7,238	15,000	7,238	8,165	9,248	9,853	11,035	△



▼取組状況・今後の取り組み

I-1. 節電・省エネを実践する

【取り組みの目標の進捗状況】

「エコファミリーの登録件数」は、環境部各課の補助制度などと連携し、エコファミリーへの登録を促すことで順調に増加し、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・エコファミリーの登録が太陽光補助金等の交付や節電・省エネチャレンジキャンペーン等の参加の条件となっていることから、補助金申請者やキャンペーン参加者の増加に伴い、登録件数も大幅に増加し、市民の環境に対する意識啓発につながった。
- ・豊橋サイエンスコアによってうちエコ診断、クールチョイスの普及啓発を行い市民に対して省エネ意識の醸成を促した。
- ・商工会議所の会報誌と同配で省エネに関するチラシを配布し、普及啓発を図った。

【今後の取り組み】

- ・市民・事業者に対する省エネに関する情報の発信及び普及啓発を継続する

I-2. 建物の省エネ化を進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「家庭用エネルギー設備補助件数」は、技術革新に合わせた制度の変更を実施したが、固定買取価格の減額に伴い太陽光発電システムの申請件数が減少したことにより、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・街路灯を水銀灯からLED街灯に建て替えるなど、環境に配慮したライフスタイルが定着したまちづくりに取り組んだ。
- ・長期優良住宅事業については平成30年度に746件の認定実績があり、各住宅メーカーへの普及啓発を継続的に行うことにより概ね浸透している。

【今後の取り組み】

- ・公共施設の省エネ化の推進

方針 II

新しいエネルギーを生み出そう

方針の推進に向けた施策

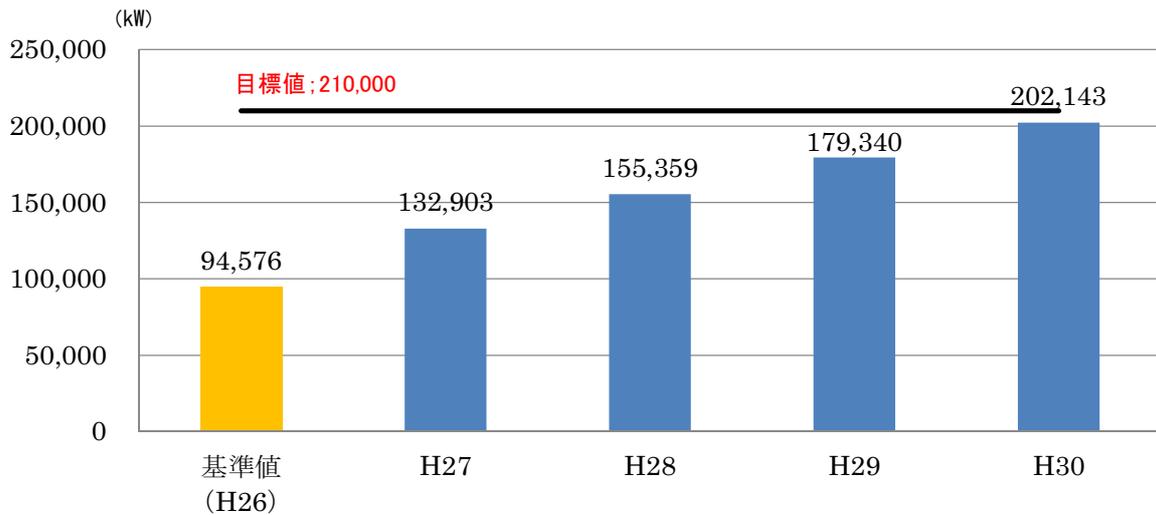
II-1. 再生可能エネルギーの普及を進める

▼課題

□限られた化石燃料の使用を削減するため、バイオマス資源の利活用を進めるとともに、太陽光発電、小水力発電、小型風力発電などの再生可能エネルギーを、バランスを取りながら積極的に導入していく必要がある。

取り組みの目標	基準値 (H26)	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
再生可能エネルギー施設の設置量（累計）[kW]	94,576	210,000	94,576	132,903	155,359	179,340	202,143	○

再生可能エネルギー施設の設置量（累計）



▼取組状況・今後の取り組み

II-1. 再生可能エネルギーの普及を進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「再生可能エネルギー施設の設置量」は、固定価格買取制度など国の再生可能エネルギー導入促進策もあり、住宅用・事業用ともに太陽光発電の設置が進み、順調に増加している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- 積極的に省エネ型のLED照明化を進め、小中学校校舎や競輪場の照明器具など、4,371箇所のLED化を実施した。また、住宅用太陽光発電システムや燃料電池システム等設置者に対する補助制度を継続的に実施し、更なる低炭素化を図った。
- 分別収集した生ごみやし尿・浄化槽汚泥、下水汚泥をバイオマス利活用センターでメタン発酵処理し、再生可能エネルギーであるバイオガスを発生させ発電を行った。平成30年度の発電量は約700万kwhであり、計画量を上回った。

【今後の取り組み】

- 太陽光発電を中心とした、再生可能エネルギーの導入拡大と支援

方針 III

地球にやさしい乗り物を使おう

方針の推進に向けた施策

III-1. 自家用車に頼らないまちづくりを進める

III-2. 自動車を賢く使うライフスタイルに転換する

▼課題

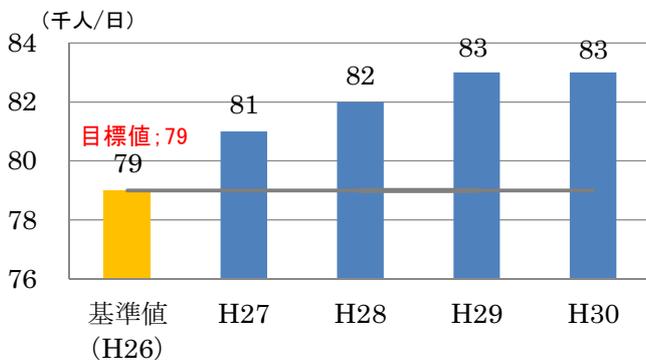
□自家用車に頼らなくても誰もが自由に移動できるまちづくりを進めるため、持続可能な公共交通ネットワークを形成する必要がある。

□市民一人ひとりが自らのライフスタイルを見直し、自発的に社会や環境などへの影響を考慮した交通行動へ変化するよう、意識を高める必要がある。

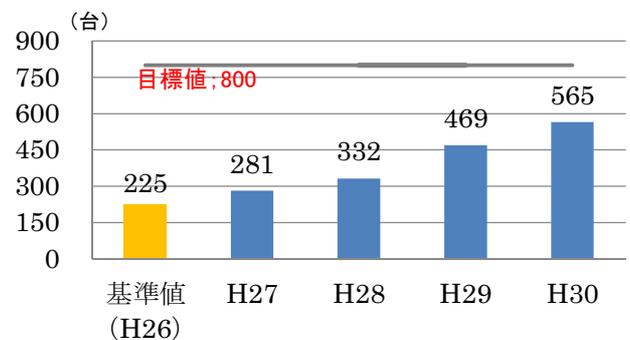
□自転車が安全かつ快適に移動できる利用環境を整備するとともに、自転車利用者等がルールを遵守するよう、交通安全意識の醸成を図る必要がある。

取り組みの目標	基準値 (H26)	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
1日当たりの公共交通利用者数 [千人/日]	79	79	79	81	82	83	83	◎
次世代自動車登録台数 (累計) [台]	225	800	225	281	332	469	565	△

1日当たりの公共交通利用者



次世代自動車登録台数 (累計)



▼取組状況・今後の取り組み

III-1. 自家用車に頼らないまちづくりを進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「1日当たりの公共交通利用者数」は、公共交通全体で利用者が増加したことにより、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・幹線バスの終バス延長事業の実施、モビリティマネジメントや公共交通利用促進イベントの実施、「地域生活」バス・タクシーの運行、「元気バス」購入者への一部助成を行うなど、公共交通の利用促進を図った。
- ・自転車通行空間や自転車歩行者道、サイクルピットを整備し、自転車の利用環境を整えた。

【今後の取り組み】

- ・自転車利用の環境整備や安全利用の促進等による自転車活用の推進

III-2. 自動車を賢く使うライフスタイルに転換する

【取り組みの目標の進捗状況】

「次世代自動車登録台数」は、次世代自動車を購入した市民及び中小企業へ補助金を交付し導入の促進を図ったが、目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・電気自動車、燃料電池自動車、電動バイク等の購入者への助成を行うとともに、充電設備の整備を行った。
- ・エコドライブの普及のため、市民に対してエコドライブ講習会を実施した。

【今後の取り組み】

- ・市民及び事業者に対する次世代自動車の普及促進

方針 IV

緑や資源を大切にしよう

方針の推進に向けた施策

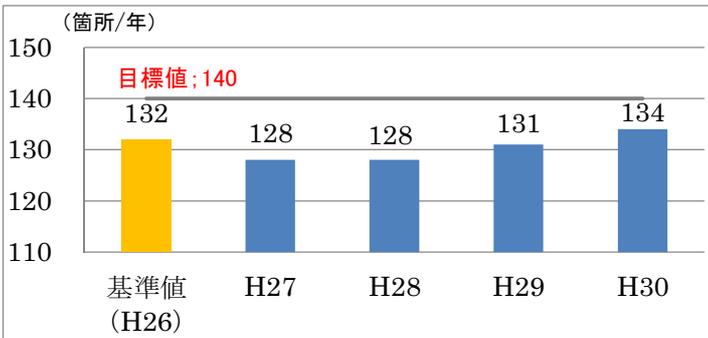
- IV-1. 森林や農地を保全し、都市の緑化を充実する
- IV-2. ごみ減量やリサイクルを進める

▼課題

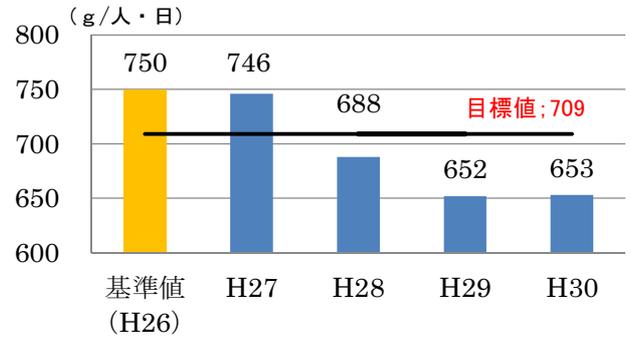
- 森林や農地の適切な維持管理を推進し、多様な公益的機能の維持・復元に取り組む必要がある。
- 市街地の緑は、市民の憩いの場として生活に安らぎを与えるとともに、多様な生き物の生息や移動を可能とするなど様々な恩恵をもたらすため、市街地の緑地を保全するとともに、更なる緑化を推進する必要がある。
- 水と緑のネットワークを形成することで風通しをよくし、ヒートアイランドの緩和に貢献する必要がある。
- 更なるごみ減量・リサイクルの推進を実現するため、市民・事業者と、ゴミについての問題意識を共有していくとともに、新たなごみ減量・リサイクル施策を導入していく必要がある。

取り組みの目標	基準値 (H26)	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
公共施設における緑のカーテン設置箇所数 [箇所/年]	132	140	132	128	128	131	134	△
市民1人が1日に出す家庭系ごみの量 (事業所から出るごみを含まない) [g/人・日]	750	709	750	746	688	652	653	◎

公共施設における緑のカーテン設置箇所数



市民1人が1日に出す家庭系ごみの量 (事業所から出るごみを含まない)



▼取組状況・今後の取り組み

IV-1. 森林や農地を保全し、都市の緑化を充実する

【取り組みの目標の進捗状況】

「公共施設における緑のカーテン設置箇所数」は、公共施設や市内全小中学校等で設置したが目標を下回っている。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・市民に対し緑のカーテンの効果を伝えるために、ホームページや広報FMとよはしを通じて普及啓発を実施した。
- ・市役所本庁舎西館の屋上にて、屋上緑化を実施した。
- ・こじかこども園における園庭芝生化事業を実施し、園児及び保護者、地域住民等延べ118人の協力を得て、芝植えを実施した。

【今後の取り組み】

- ・公共施設における緑のカーテンの設置促進

IV-2. ごみ減量やリサイクルを進める

【取り組みの目標の進捗状況】

「市民1人が1日に出す家庭系ごみの量 (事業所から出るごみを含まない)」は、平成28年4月に導入した指定ごみ袋制度、平成29年4月から開始した生ごみ分別収集、平成30年度のごみ処理非常事態宣言の発令に伴うごみ減量・リサイクルの啓発により、市民のごみに対する意識が高まったことで順調に減少し、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・広報とよはしやホームページへの掲載、クリーンカレンダー等の配布によりごみ減量と分別排出の周知に取り組んだ。また、ごみ分別について、啓発チラシの全戸配布 (年2回) 及び組回覧 (年3回) を実施するなど、更なる周知啓発に取り組んだ。
- ・バイオマス利活用センターの供用開始により、生ごみや下水汚泥、尿・浄化槽汚泥を資源として有効活用した。

【今後の取り組み】

- ・バイオマス利活用センターでのバイオマス資源利活用事業の推進

方針 V

地球環境への理解を進めよう

方針の推進に向けた施策

V-1. 地球温暖化についての意識を高める

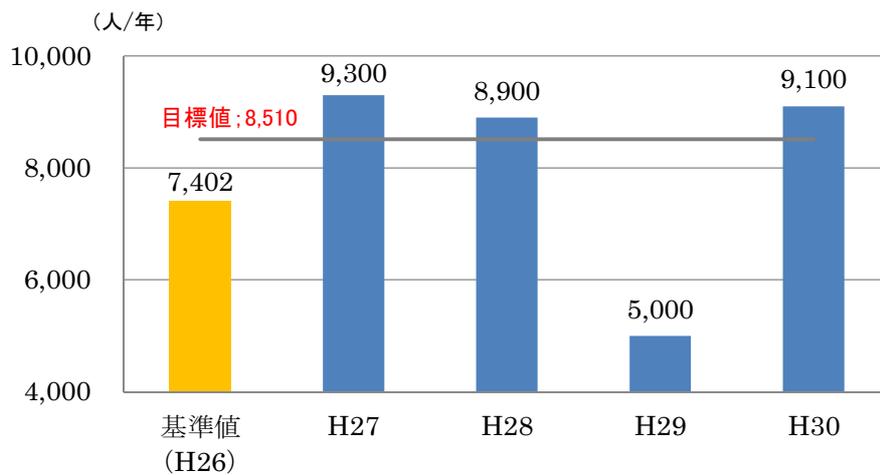
▼課題

□子どもから大人まであらゆる世代に対して、環境学習の機会を増やし、内容の充実を図る必要がある。

□多くの市民が興味を持ちやすい内容から、徐々に実践的な取り組みに移行できる環境学習の展開が必要である。

取り組みの目標	基準値 (H26)	目標値 (R2)	H26	H27	H28	H29	H30	進捗状況
環境イベントの参加者数 [人/年]	7,402	8,510	7,402	9,300	8,900	5,000	9,100	◎

環境イベントの参加者数



▼取組状況・今後の取り組み

V-1. 地球温暖化についての意識を高める

【取り組みの目標の進捗状況】

「環境イベントの参加者数」は、530広報大使やSNSを活用した情報発信などにより530運動のPRを強化し、また、雑がみ回収啓発を環境フェスタ等と併せて実施したことで参加者数が増加し、現時点で目標を達成している。

【具体的な取り組みの実施状況】

- ・平成30年度に開催した530のまち環境フェスタには7,000人が来場し、ゴミの発生抑制や環境保全を来場者へ呼びかけた。
- ・学校や地域における環境学習への取り組み支援として出前講座やゴミ処理施設見学会を開催し、延べ14,113名が参加した。

【今後の取り組み】

- ・あらゆる世代に対応した環境学習の内容の検討と展開